

# 繋がり(幼・小・中・高・大・地域)で育む健やかな心と体

チーム池田

## 活動の目的

これまでの幼・小・中・高・地域の連携に加えて、平成28年度より体育特区として健やかな心と体の育成を柱に大学との連携を行った。「幼小中との繋がり」をもつことで異校種への滑らかな接続を、「高・大・地域」との繋がりをもつことで学校の特徴をいかした地域活性化の推進を図っていく。また、新たに放課後教室「スマイルキッズいけだ」を週5日地域で運営することにより、安全な児童の居場所を確保し、児童減少を食い止める。このような取り組みを継続的に行い、地域活性化と異校種へのなめらかな接続を推進する。

## 活動の内容及び経過

繋がり	活動内容等
幼 小	いちご摘み、水泳学習、運動会、ハロウィンパーティー、ふれあい遊び、学習発表会 ピアサポート、業間運動(縄とび)、チャレンジ走大会、一日入学 ※小学校へのスムーズな移行、上学年の自覚
小 小	総社西中学校区内の総社中央小学校との一日合同授業 ※大人数の中での授業体験、仲間の広がり、中1ギャップの解消
小 中	中2によるピアサポート、6年生対象中学校授業・部活体験、合唱集会参加 ※中学校の授業や雰囲気体験、入学時の中3との交流経験
小 高	夏休み補充学習交流 ※学力向上、高校生との交流経験
小 大	水泳教室、陸上教室、着衣泳、体育授業への参画、授業研修会 ※学習意欲・運動技能の向上、授業力向上
専門家	トップアスリート派遣事業(ファジアーノ岡山)、馬頭琴奏者(モンゴル)、落語家、等 ※本物体験
地域	学校だより配布、名勝豪溪クリーン作戦、町探検、池田いいところ探し、地域防災訓練、小道の駅、学校支援ボランティア活動推進等 スマイルキッズいけだとの連携 ※情報の共有、郷土愛、環境学習、キャリア教育、安全・安心まちづくり、放課後の児童の居場所づくり

## 活動の成果・効果

- 異校種間の連携を図ることで、進学先での人(教職員、同級生、先輩)、物(校舎、教室)、事(学習方法、部活等)への不安が解消された。明るい展望をもって、学校生活を送ることにつながった。  
経験による学びの広がりや自信が感じられる。また、子どもたちがより多くの繋がりをもつことで保護者の安心感に結びついている。
- 大学との連携がさらに進み、運動好きの子どもが増え、健康への関心も高まってきている。また「スマイルキッズ



いけだ」へも大学生スタッフが参加し、大学生と地域とのパイプが太くなってきた。大学生にとっても、子どもとのふれあいや地域活動への参加による学びが深まっている。

- 体育特区としての認知が進み、保護者や地域の方々の体力や健康づくりについての意識が高まってきている。大学との連携が好循環になってきている。

事業後アンケート(肯定的な回答%)					
幼小	92%	小小	95%	小中	98%
小高	100%	小大	100%	小ト	100%

## 今後の課題と問題点

課題は、①ねらいを明確にした連携事業の推進 ②異校種間の円滑な接続の継続 ③児童数増加をめざした取り組み

- 代表者：岩井博行 ●所在地：総社市見延
- TEL：0866-95-8092
- E-MAIL：ikedasyo@ikeda-es.soja.ed.jp
- URL：http://www.ikeda-es.soja.ed.jp/index.html